

西暦2026年1月1日 第1版

## 臨床研究へのご協力をお願い

水戸医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している方の個人情報等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

また本研究は観察研究であり、研究対象者への侵襲や介入がなく、診療情報などの情報のみを用いて実施されます。研究対象者の同意を得ることは時間・費用等に照らし研究の遂行に支障を及ぼすため、研究の目的を含めて研究の実施についての情報を通知または公開して可能な限り拒否の機会を保障すること（オプトアウト）により実施します。

[研究課題名] 緩和ケア病棟に入院している終末期がん患者の外出・外泊に関する現状

[研究代表者・機関の長の氏名]

独立行政法人国立病院機構水戸医療センター 4階東病棟（緩和ケア病棟） 鈴木久美子  
機関の長 院長 米野琢哉

[研究の背景]

2024年度に緩和ケア病棟で外出・外泊を希望した患者・家族は88名であったが、希望した全ての患者が外出・外泊を実現できたわけではなく、病状の悪化に伴い、様々な要因から希望通り外出・外泊を実現できないケースも多かった。

[研究の目的]

当院の緩和ケア病棟に入院している患者の外出・外泊を可能にする要因や、実現を困難にした要因等を分析することで、今後の外出・外泊に向けた必要な看護支援を検討することを目的とした。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

終末期のがん患者さんで、西暦2024年4月1日から西暦2025年3月31日の間に緩和ケア病棟に入院・転入し、外出・外泊を希望した方

●研究期間：院長許可日から西暦2026年12月31日

●利用開始日：倫理審査委員会承認日

●利用する試料（血液・組織等の検体）、カルテ等の情報

試料：なし

カルテの情報：診断名、年齢、緩和ケア病棟の入棟期間、苦痛症状の有無・程度（NRS）、必要とする医療処置、患者のADL状況、外出・外泊前の患者と家族の不安内容、外出・外泊の目的、外出・外泊の実現の可否、外出・外泊の実現回数、外出・外泊の時期、患者の支援者の人数・関係性、外出・外泊から帰院した患者と家族の思い

## ●試料や情報の管理

情報は、研究代表機関である水戸医療センターに提出され、集計、分析が行われた後、研究代表者が適切に保管・管理します。

## [研究組織]

## ●研究代表者（研究の全体の責任者）：

独立行政法人国立病院機構水戸医療センター

病棟名 4階東病棟（緩和ケア病棟） 鈴木 久美子

機関の長 院長 米野 琢哉

## ●その他の共同研究機関等：なし

## [個人情報の取扱い]

研究に利用する情報を院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。当院の研究責任者は、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける情報も含めて、責任をもって適切に管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報が公表されることは一切ありません。

将来、この研究で得られた情報も別の研究に利用（二次利用）する可能性があります。その場合も個人を直ちに判別できる情報を出すことはありません。二次利用する場合は、その研究計画について改めて倫理審査委員会及び研究機関の長の承認を得て実施となり、その内容は参加機関のホームページ等で公開されます。

## [研究の資金源、利益相反について]

この研究における当院の研究者の利益相反については、当院の臨床研究利益相反委員会で審査され、適切に管理されています。また、研究組織に係る研究者の利益相反については、所属する機関において、適切に管理されています。

## [研究の参加について]

患者さん又はその代理の方が、この研究への参加やカルテ等の情報を利用することにご協力いただけない場合は、研究責任者等又は「問い合わせ先」にご連絡ください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、この研究の結果が論文などで公表されているなどであなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

## [問い合わせ先]

国立病院機構水戸医療センター 4階東病棟（緩和ケア病棟） 鈴木 久美子

電話 029-240-7711（代） FAX 029-240-7788